

記録映画アーカイブ・プロジェクト 第12回ワークショップ
「戦後史の切断面（3）一万博とアバンギャルド」のご案内

日時：2014年3月1日（土）、13:30-18:00（開場は13:00）

場所：東京大学本郷キャンパス 情報学環・福武ホール

福武ラーニングシアター（B2F）

定員：180名

申込：入場無料。事前のお申し込みが必要です。

以下のURLよりお申し込みください。（1月下旬より受付開始）

主催：東京大学大学院情報学環 記録映画アーカイブ・プロジェクト

協力：記録映画保存センター

概要

記録映画のアーカイブを活用して、映像を用いた多様な研究・教育の可能性を再発見する連続ワークショップ。その第12回は「戦後史の切断面」シリーズの3回目として、1970年の万博のパビリオン映像を特集します。

半世紀前の日本は戦後廃墟から一気に、世界第2位の経済大国にのし上がった。それを祝うかのように日本万博が開かれた。約6500万人もの国民が会場に詰め掛け、『人類の進歩と調和』祭典に酔いしれた。当時の日本人が夢見た未来は実現できたのであろうか。残されたパビリオン映像を復元して検証してみる。

プログラム：

13:00- 開場

13:30- 開会 総合司会：丹羽美之（東京大学）

13:35- 映画上映（約60分）

- ・ニュース映画で見る「万博会場」（1970年5分 混雑、目玉男）
- ・せんい館「スペース・プロジェクション・アコ」（監督 松本俊夫）15分、
- ・自動車館「1日240時間」（脚本 安部公房 監督 勅使河原宏）20分*新規復元
- ・東芝・IHI館「希望一光と人間たち」（藤久真彦監督）18分*新規復元

14:30- 休憩

14:50- 制作者が語る（20分程度）

吉原順平（元岩波映画、大阪万博映像プロデューサー）製作側の考え、展示映像その後

15:20- パネリスト報告（各30分程度）

友田義行（信州大学）「1日240時間」の復元と 安部公房と 勅使河原宏

筒井武文（東京藝術大学）「スペース・プロジェクション・アコ」と松本俊夫

暮沢剛巳（東京工科大学）「パビリオンから観た大阪万博」

16:50- 全体討論 コーディネーター：吉見俊哉（東京大学）

18:00- 終了

戦後史の切断面 その③「万博とアヴァンギャルド」上映作品 について

「ニュース映画で見る万博」 10分

*当時、松竹系映画館で上映されていた「読売国際ニュース」と、万博協会が広報向けに作成した万博ニュース（音ネガがなくサイレント版）と繋げた。（映像提供 読売映像）

東芝IHI館「希望一光と人間たち」 18分

製作 小口禎三・藤瀬季彦・川上裕彦

監督 藤久真彦

撮影 三角善四郎・西山東男・八木義順

照明 藤来義門

録音 安田哲男

音楽 富田勲 指揮 石丸 寛 演奏 読売日本交響楽団

製作会社 岩波映画製作所

復元者 記録映画保存センター

復元協力 吉原順平・坂口康・藤瀬季彦・石井香奈江・井上実

*本来は35ミリ映写機9台によるマルチスクリーンで上映された360度全周映像。

今回はその内の3面を復元した。音声は16^ミシネテープから出力されたため音ネガは存在しない。上映作品の音声は保存されていたレコードから、音楽だけを関係者の立ち合いで復元した。

自動車館「1日240時間」 30分

製作 勅使河原宏・高島道吉

脚本 安部公房

監督 勅使河原宏

撮影 瀬川浩

音楽 佐藤勝

振付 関矢幸雄

美術 高松次郎・山崎正夫

衣装 森谷多美子

タイトル 杉浦康平

照明 浅見良二

録音 大橋鉄也

記録 吉田栄子

製作主任 遠藤雅也

アニメーション 島村達雄

特撮 高野宏一

操演：大木淳、光学撮影：中野稔、マスク：飯塚定雄

製作経理 野村紀子

作詞・歌 ホキ徳田

キャスト 袋正・欄千子・音無美紀子・桃井かほり・藤原鎌足・木島則夫・小林トシ子

製作会社 勅使河原プロダクション

復元者 信州大学 友田義行

復元協力 草月会・野村紀子・吉田栄子・甲籐勇・井上実・イマジカウエスト

*35ミリ映写機4台によるマルチスクリーン。正面3面、天井1面に上映。映像は35ミリネガ原版からHDテレシネした4本の映像を1画面に編集。音声は1インチ8トラックアナログ磁気テープから音楽、効果音を手作業で取り出した。そのため効果音の一部が欠落している。（映像提供 草月会）

せんい館「スペース・プロジェクション・アコ」 15分

製作 工藤充

総合プロデューサー 松本俊夫

映像ディレクター 鈴木達夫

音響ディレクター 秋山邦晴

作曲 湯浅譲二

照明ディレクター 今井直之

造形ディレクター 横尾忠則

展示ディレクター 福田繁雄・植松国臣・吉村益信

ロビー人形制作 四谷シモン

製作会社 協和広告

復元者 稚内北星学園大学 阪本裕文

*35ミリ映写機10台・スライド映写8台によるマルチスクリーン上映。

今回の上映作品は、せんい館内に観客を入れない状態で、ドーム内壁の彫刻等に映されたマルチ映像を16^{ミリ}固定カメラで撮影。16^{ミリ}ネガ原版から16^{ミリ}プリントをHDテレシネした。音声も場内で流れた音を使用。（映像提供 阪本裕文）